

ひたちなか市図書館協議会(※)新中央図書館整備検討についての意見(概要)

※図書館法第14条第3項に基づく機関

(構成委員:学校教育, 社会教育関係者, 家庭教育の向上に資する活動を行うもの, 学識経験者)

令和6年7月4日 令和6年度第1回 ひたちなか市立図書館協議会

○新中央図書館整備について(現地視察後の意見)

【委員からの主な意見】

・待ちに待った新館の整備地がやっと決まった。完成まであと5年近くあるので、これからは図書館のために力を尽くしていきたい。

・緑がとても多くて、「ふぁみりこらぼ」も近く、心地良い環境だと感じた。たくさんの利用者に利用してもらえるとすると、完成が楽しみだ。

・新中央図書館が小さい子からお年寄りまでみんなが集まれる素敵な場所になると良い。

・駐車場は、石川運動ひろば駐車場を使用するのか。

⇒(市)新中央図書館整備地の計画範囲内(約9,000㎡)に駐車場を設ける計画をしている。

・「ふぁみりこらぼ」では子ども達がよく勉強しているので、新中央図書館もそのようになつて欲しい。

・建物がどのような特色になるかといったことについて、できるだけ市民の声を取り入れて、多くの人の意見や想いが込められたような図書館にして欲しいと願っている。

・どういう建物を作るかももちろんだが、どういう図書館に育てていくかということが一番大事である。建物は立派だが、スタッフの動きがいまひとつという場合もある。緑が多く良い環境であるが、これからどういう方向を向いて整備を進めていくかが課題である。

・図書館と東石川第4公園を一体的に利用できると良い。図書館と東石川第4公園は自由に行き来できるのか。

⇒(市)図書館と公園は自由に行き来できる。設計の中で具体的に検討していき、図書館と公園の相乗効果を図っていきたい。

・市民の最大公約数的な図書館ができれば素晴らしい。

・整備地内に駐車場ができるということだが、図書館利用者と公園利用者が一緒に使うのか。車での利用者が一番多いので、そうした事例も踏まえて駐車場整備を検討して欲しい。

⇒(市)(整備地内に駐車場を整備する予定だが)東石川第4公園の駐車場もあるが、だいぶ老朽化しているので、公園管理部署と協議し、一緒に整備していくことも検討していきたい。

・図書館周辺の整備について、一帯が文教地区になると思うが、「ふぁみりこらぼ」との連携や、車での利用が多いので、周辺施設と連携しながら駐車場整備をしていって

欲しい。また、周辺道路の混雑対策を行い、市民が利用しやすい環境整備が必要である。

・図書館もオープン時は多くの方が来ることが予想されるが、一過性で、一定期間経つと、ある程度の駐車台数で済んでしまう。イベントがあると満車となるといったことを踏まえ、(周辺施設と)うまく連携して、安全衛生対策をしながら周辺整備をして欲しい。また、他の新しい図書館でも建物の表向きは良いが、図書館職員が働くバックヤードが散乱していたりする場合がある。職場環境としても、安全で効率的な、腰に負担がかからないような職場を作って欲しい。

令和6年10月17日 令和6年度第2回 ひたちなか市立図書館協議会

○新中央図書館整備について

【委員からの主な意見】

・プロポーザル審査委員は、どこがどういう基準で選んだのか。また、配点の詳細を教えてください。

⇒(市)1問目の委員の選定については、まず、本市と同様にプロポーザルを近年に実施した他自治体の事例を参考に、外部委員5名・内部委員2名と人数を定めた。

各外部委員については、1人目は建築の専門家で、図書館協議会でも令和4年度に講演会をしていただき、その他にも新中央図書館整備候補地の評価に係る有識者会議にも参加し、整備地の経緯についてもよくご存知の方である。また、複数の自治体の図書館設計プロポーザル委員の実績も豊富である。

2人目は建築の専門家で、特に子育てや福祉の分野に精通しており、過去には、ふぁみりこらぼの設計においてアドバイザーとしてご意見をいただいた経緯がある方である。

3人目と4人目については、図書館運営に精通した方々であり、3人目の方は令和5年度に2回実施した新中央図書館ワークショップのファシリテーターを務めていただいた方である。4人目の方は、他の委員から複数の候補者を紹介いただいた中から、専門や経歴を確認した上で、今回の委員にふさわしい方として挙げている。

2問目の配点の詳細については、新中央図書館設計業務委託に係る公募型プロポーザル「評価基準」のとおりである。課題1～4の提案書への得点に、それぞれ提出のあった見積書の金額による加点と第1次審査からの加点を合計して、事業者の選定を行った。

・若い世代や子育て世代の利用促進が方針の一つにあり、若い方の意見を入れた方がよいと考えるが、委員に20代と30代の方はいるのか。

⇒(市)20代と30代はおらず、40代の委員は2名いる。

○新中央図書館整備について

【委員からの主な意見】

・このワークショップは、新中央図書館でワークショップ等を行うときのアイデアにもしたいという考えがあるのか。

⇒(市)新中央図書館で、様々なワークショップや展示、イベントなどを行う際にも活かしていきたい。

・ワークショップで素晴らしいアイデアがたくさん出ているので、学校の児童生徒にも、アイデアを求めてみてほしい。今は小学校から大学まで全て探求型学習を推進しており、どうやって物を調べていくかとか、どうまとめていくかというトレーニングにも十分なる。学校にも協力をしていただきたい。

・ワークショップに参加した方は、図書館に関心があるから参加しているのだと思う。近隣の学校にアンケートをとると、図書館の将来に活かすことができるではないか。利用者アンケートの結果をみても、10代の利用者は、学校に図書館があったり、時間の余裕がなかったりするのを検討してほしい。

・各学校にお願いして、学校の特別活動のような時間で、図書館で自分たちはどんなことができるかなどと考える機会を持ち、子どもたちの意見を吸い上げていってほしい。そうすれば、子どもたちも夢中になり、図書館をもっと利用したり、本が好きになったりする。

・図書館に興味関心や関わりがある方はイベント等の情報も分かるかと思うが、図書館にあまり来ていない方や、仕事でなかなか情報を集められない方へも情報が届くように積極的に広報してほしい。例えば、駅やスーパーにポスターを置くなど、図書館と関係がない場所でも、図書館の情報が目に入るようになるといい。知っていたら行きたいという方もたくさんいると思う。

・墨田区では、東京スカイツリーや墨田水族館での調べ学習を実施したことがあり、区や企業を巻き込んでやっていくという方法を行った。そのときに、調べ学習をやるだけでなく、思いがけない効果があった。それは、子どもはもちろん一生懸命やるが、親がついてきて一緒にやるようになったという良い現象が起きた。ひたちなか市でも、様々な学習の素材があるので、総合的な学習の時間を使って、学校教育へ働きかけるといった手法もある。